



2015年4月23日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
 代表者 代表取締役社長 畑中好彦
 コード番号 4503
 (URL <http://www.astellas.com/jp>)
 東証 (第一部)
 決算期 3月
 問合わせ先 広報部長 臼井 政明
 Tel: (03) 3244-3201

2015年3月期連結業績の見込み値等に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長：畑中好彦）は、2015年3月期（2014年4月1日～2015年3月31日）の連結業績（IFRS）の見込み値等について、下記の通りお知らせします。

記

1. 2015年3月期連結業績（フルベース）の見込み値

2015年3月期（2014年4月1日～2015年3月31日）の連結業績（フルベース）の見込み値を、下記の通りお知らせします。なお、当社は売上高を除きフルベースの連結業績予想を公表していませんでしたが、各利益段階の見込み値が前期実績に対して30%を超える変動となりましたので、公表いたします。

2015年3月期連結業績見込み値（フルベース）

	売上高	営業利益	税引前利益	当期純利益	親会社の所有者に帰属する当期純利益	基本的1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績（A）	1,139,909	116,806	121,975	90,874	90,874	40.45
今回見込み値（B）	1,247,259	185,663	189,683	135,856	135,856	61.50
増減額（B-A）	107,351	68,858	67,708	44,982	44,982	
増減率（%）	9.4%	59.0%	55.5%	49.5%	49.5%	

2. 連結業績（フルベース）の見込み値について

売上高につきましては、前立腺がん治療剤 XTANDI/イクスタンジのほか、ベシケアとベタニス/ミラベトリック/ベットミガを合わせた過活動膀胱治療剤の売上がグローバルで拡大したことなどから、前期に比べ増加する見込みです。

売上高の増加に加えて売上原価率の低下を見込むことから、売上総利益は前期に比べ

増加する見込みです。販売費及び一般管理費、研究開発費は前期に比べ増加する見込みです。また、コアベースの実績からは除外される「その他の費用」433億円（前期は810億円）を計上する見込みです。

以上の結果、フルベースの営業利益、税引前利益及び当期純利益は前期に比べ増加する見込みです。

3. 2015年3月期連結業績予想（コアベース）の修正

当社は、会社の経常的な収益性を示す指標としてコアベースの業績を開示しています。2014年10月31日に公表した2015年3月期（2014年4月1日～2015年3月31日）のコアベースの連結業績予想を下記の通り修正しました。

2015年3月期連結業績予想（コアベース）

	売上高	コア営業利益	コア当期純利益	1株当たり コア当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,210,000	百万円 210,000	百万円 154,000	円 銭 69.65
今回発表予想（B）	1,247,259	216,500	153,244	69.37
増減額（B－A）	37,259	6,500	△756	
増減率（%）	3.1%	3.1%	△0.5%	
（ご参考）前期実績	1,139,909	186,253	132,796	59.11

4. 修正の理由について

売上高につきましては、XTANDI／イクスタンジのほか、ベシケアとベタニス／ミラベトリック／ベツトミガを合わせた過活動膀胱治療剤の売上がグローバルで拡大したことなどから、前回予想を上回る見込みです。

売上高の増加に伴う売上総利益の増加が販売費及び一般管理費、研究開発費などの増加を上回る見込みであることから、コア営業利益は前回予想を上回る見込みです。また、法人税等の負担率が前回予想における想定から上昇する見込みであることから、コア当期純利益は前回予想を下回る見込みです。

なお、2016年3月期（2015年4月1日～2016年3月31日）の連結業績予想につきましては、コアベースの業績予想とともに、フルベースの業績予想を2015年5月11日に公表する予定です。

（注）上記の連結業績の見込み値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、確定値とは異なる場合があります。

以上